第50回記念小学生バレーボール香川大会
審判関係注意事項

香川県小学生バレーボール連盟
審判委員長　長尾　宗之

1）　2022（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則を適用する。

2）　審判員のうちファーストレフェリー・セカンドレフェリーについては、チームより選出された2名のチーム推薦審判員が担当する。
各チームの選手は、コートオフィシャルとして記録員・ラインジャッジ・点示員を担当し運営に参加する。

3）　審判運営は、各ブロックの試合を行わないチームで審判団を結成して行う。（審判団は1チームまたは2チームで結成する。）

4）　服装について、選手のユニフォームは袖のないユニフォームの使用を禁止し、審判員は審判服を着用することとする。 ただし、審判服でのベンチ入りは認めない。（その都度着替えていただきますよう、ご理解ご協力をお願い致します。）

5）　コートオフィシャルとして活躍する際は、必ずスクイズボトルを持参し選手と同じタイミングで給水ができる準備をしておくこと。
今大会、ファーストレフェリー・セカンドレフェリーは記録席にスクイズボトルを置くことができ、選手と同じタイミングでの給水が可能となる。 ただし、ファーストレフェリーは試合終了までレフェリースタンドから降りることができないため、セカンドレフェリーからファーストレフェリーへスクイズボトルを配達、連携する。（レフェリースタンド上で立ったままの給水はお控えください。）

6）　試合球は各チームからの提供ボールとするが、空気圧について固い・柔らかいがはっきりと判断できるボールの使用は控えること。（空気圧に不安がある際は本部席にて計測を行います。）

7）　各チームで必ずワイピング用のスモールタオルを複数枚用意しておく。
試合中、コート内の選手（できれば6名）はスモールタオルを携行し、床が濡れた際は速やかにワイピングを行うこと。
基本的にモップの使用は、タイムアウト時とテクニカルタイムアウト時、及びセット間のみとする。

8）　新しく改正になったルールや取扱いに十分注意し、スポーツマンにふさわしい行為、フェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動する。

9）　試合中の事故やケガの防止、また選手の健康管理には担当審判員・チームスタッフ・保護者等が全体で且つ全力で取り組むこと。

10）グリーンカードの適用にご理解を頂き、1枚でも多くグリーンカードの提示がある大会を目指しましょう。